



生活が便利になった今 当時の苦勞を伝えていきたい

蛇口をひねれば水が出て、電気でご飯が炊ける便利な世の中。しかし、昔の人は重い水桶を担ぎ、はるばる運んでいました。今の子どもたちが水桶を担ぐ体験をすると、あまりの重さに驚き、中には上手く歩けない子もいるほどです。当時の苦勞を子どもたちが実感してくれたら良いですね。

私自身、石ぐら会の活動を通じて、それまで知らなかった地域の歴史や自然などを学びました。子どもたちに教えるのも楽しく、充実した毎日です。会員を募集していますので、興味のある人はぜひ一緒に活動しましょう。



石ぐら会 とうくこ
菱沼 得子 氏

《会員の申込先》
石ぐら会(若月)
☎090-4029-1441

体験を通じて学んでもらおう
那須野が原の自然や歴史など幅広く紹介している那須野が原博物館の展示には力が注がれ、細部までこだわったジオラマや巨大な模型を観ながら、当時の様子を学ぶことができる。学校の授業で年間90校ほどの子どもたちが訪れる博物館。その案内をしているのが、ボランティア団体「石ぐら会」だ。昭和57年に発足して以来、35年の歴史があり、現在22名の会員が活動している。展示解説のほか、子どもたちに開拓の苦勞を実際に感じてもらうため、当時の生活を体験する水運びや、石を運ぶモッコ担ぎを行っている。また、月に2回博物館で催される親子チャレ

歴史を引き継ぐために
何もしなければ、時代の波にのまれ、失われてしまう地域の歴史。点在する遺産は、断片的に当時を伝えてくれる。その遺産を繋ぎ合わせると、新たに見えてくる物語。貴族たちが夢を見た未来にいる私たち。日本遺産の認定をきっかけに、地域の遺産を巡ってみてはいかがだろうか。また、忘れてならないのは、この物語のバトンは今私たちに渡されているということ。これから新しい物語を作り、次の世代に繋げていくのは、私たちにしかできないのだ。

明治貴族の開拓物語 出前講座で学べます

日本遺産に登録されたストーリーや関連文化財などを、私たちが外向いて解説する出前講座を開始します。この機会に、この地が誇る歴史を学んでみてはいかがでしょうか。地域の見方がきっと変わるはず。申し込みをお待ちしています。

眠っている歴史的資料の 情報を集めています

この地域にはまだ明らかでない歴史が眠っているかもしれません。古くから伝わり、地域の歴史がわかる文書や資料をお持ちの人は、情報を寄せてください。

▶申し込み・問い合わせ
国生涯学習課 ☎0287(37)5419

私たちと一緒に 日本遺産を楽しみましょう！！



歴史を次の世代へ

明治150年となる今年。多くの人がこの地で暮らし、命の襷を繋いできた。むかし話を子に語るように、人から人へ語り継がれる物語。一度途絶えてしまうと、歴史の深い闇に消えてしまうその物語を、何とか次の世代に繋ごうとする人々がいる。



開拓の苦難を今に伝える
未開の地での大開拓。当然、労働力の確保は課題であった。大農場の多くが、原野を開き、農地を耕す移住者を募集した。明治10年代は増税と不況が重なり、人々の暮らしは非常に苦しく、特に農民の困窮が深刻だった時代。「貧しさから抜け出し、豊かな生活を手に入れたい」。そんな折、開拓地・那須野が原での移住者募集の噂が広まり、人々は希望を胸にこの地を目指したという。
しかし、開拓者たちを待ち受けていたのはつらい現実。肥料なしでは作物が収穫できない痩せた土地。また種を吹き飛ばすほどの冬の北風。そして、地面の下の石が振り下ろす鉄を拒み、開拓は困難を極めた。
そんな苦難を乗り越えた先人の意志を後世に伝えようと、毎年9月に市民劇団「なすの」による創作劇「那須野の大地」が催される。劇団員は総勢50名。下は3歳、上は71歳まで幅広く、毎年メンバーを変えながら、本番に向けて日々練習を重ねている。公演は昼・夜の2回で、出演者はそれぞれ異なり、今年も市内の学校に通う二人が主役の鶴見りん役を演じる。地域の歴史を引き継ごうとする二人の熱演を、ぜひ会場でご覧いただきたい。

9月16日の三島ホールでの2回公演

ご来場お待ちしております

主役は2人も初めてなので、プレッシャーに感じています。鶴見りんはとても前向きで、力強く、誰からも愛されるキャラクター。セリフも多く、全体の出来を左右する重要な役なので、不安なことばかりです。お客様をがっかりさせないように、前向きに全力で練習を重ね、開拓の苦勞を少しでも感じて頂けたら最高です。

今年主役の鶴見りん役を務める2人



なつ乃
桜井 那月乃 さん
塩原義務教育学校 8年生

すずか
山口 鈴華 さん
黒磯南高等学校 1年生

観覧には「入場整理券」が必要です。8月2日以内から国生涯学習課、黒磯文化会館、西那須野地区の各公民館などで配布予定です。詳しくは、問い合わせください。

▶申し込み・問い合わせ
国生涯学習課
☎0287(37)5419